



令和元年度 学校だより

学校ホームページ <http://minamisyo.nagaizumi.ed.jp/>

みなみっ子

長泉町立南小学校

No. 28

令和元年9月17日

学校教育目標 「夢のある子」～めあてをもってがんばる子～

リレー会に向けて練習が始まりました。1・2・3・4年生。

秋の雰囲気が出てきました…と書きたいところですが、非常に蒸し暑い日々が続いています。先週の火曜日は、暑さ指数(熱中症指数・WBGT)が厳重警戒レベルになり、運動場での体育は中止になりました。「危険だからできません」と言っても、直ぐに納得しないのがみなみっ子です。担任の先生の声が聞こえます。「この暑さなのに、子どもたち、一斉に『えーっ!』でしたよ。」「体育ができないと、あの



タイミングをつかむために、仲間と繰り返し練習!

子どもたち、**シュン**としちゃって。「正直、子どもたちもわたしも練習をしたいんですよ。」などなど。次の日も暑かったものの、体育の授業ができる暑さ指数でした。しかし、やはり蒸し暑いです。運動場から帰ってくる子どもたちも真っ赤なら、担任の顔も同様に真っ赤。**水分補給**には十分注意しながら、どの学級もがんばっているようでした。

さて、この9月後半から10月前半にかけて、1年生から4年生までは、体育の授業をつかってリレー会を行います(今年度、運動会の晴れ舞台で団体競技「学級対抗リレー」に取り組んだ5・6年生はリレー会を行いません)。

運動場では2年生が練習に取り組んでいました。ある学級は、バトンを使わずに、リードの感覚をつかむために何度も走っています。ぎりぎりまで走ってきた仲間から**背中をタッチ**されないように走り、お互いがバトンタッチ

のタイミングを身体で覚えていました。もう一つの学級は、実際にコースを走りながら練習しています。できるだけ内側を走ることや、**勇気をもってリード**をとることなどを、担任が熱心に指導していました。応援の声もたくさん響いていました。仲間と声を掛け合ったり、何度も練習したりしながら、バトンタッチを上達させる季節。そこで学級がギュッとまとまります。1・2・3・4年生!ファイト!!



さあ、来るよ!自信をもって!

	リレー会 日時	延期日
1年生	10月9日(水)3校時	10月10日(木)3校時
2年生	10月8日(火)2校時	10月10日(木)4校時
3年生	9月26日(木)4校時	9月30日(月)1校時
4年生	9月25日(水)1校時	9月27日(金)1校時

クラブ活動。4・5・6年でつくるクラブの雰囲気。

クラブの第3回目がありました。4・5・6年生が参加するクラブの面白いところは、同じ学年はもちろんのこと、学年の違う仲間同士で同じチームになったり、作業したりするところです。ソフトボールクラブでは、未経験者の4年生が上手にとったりすると、5・6年生が「ナイスキャッチ!」と声をかけます。自然と4年生は満面の笑顔に。料理クラブでは異なる学年同士、顔を寄せ合って美味しそうなミニパフェを丁寧に作っていました。1年に8回しかないクラブ活動。そのクラブが人気なのは、自分の好きなことができることだけでなく、クラブでの「南小の仲間」との触れ合いが理由の一つになっているかもしれません。



この夏に、菊地省三さんという方のお話を聞きました。子ども同士のコミュニケーション・対話を重視した学級経営でたくさんの子どもの心を大きく成長させた教育者です。NHK番組「プロフェッショナル仕事の流儀」でも紹介された方です。

この方のお話で、大人である私たちに大いに参考になる言葉がたくさんありました。ここに載せますので、ぜひ読んでください。

大人も子どもも一緒にしょ！

- ①叱られるよりもほめられた方がうれしい。大人も子どもも一緒にしょ！
 - ・ほめるは「ほめて」「認めて」「盛り上げる」
- ②好きな人とは話したいが、嫌いな人とは話したくない。大人も子どもも一緒にしょ！
 - ・発言は、「内容がない」「話し方がわからない」ではなく「関係性が薄い」から。
- ③自信が生まれるのは、安心できる場所。大人も子どもも一緒にしょ！
 - ・「居場所がある」「プラスに見てくれている人がいる」という経験。
- ④最初は抵抗があることでも練習するとほとんどのことは上達する。大人も子どもも一緒にしょ！
 - ・コミュニケーションもトレーニングで変わる。
- ⑤何事も軌道に乗ればいいことが起こる。(軌道に乗るまでは、どんなことも大変) 大人も子どもも一緒にしょ！
 - ・人間関係に関することは、直ぐには効果は出ない。
- ⑥違う立場の方との出会いは成長である。大人も子どもも一緒にしょ！
 - ・最終学習歴の更新につながる。
- ⑦対話をしている時に新しい気づきと発見が生まれる。大人も子どもも一緒にしょ！
 - ・対話の醍醐味は、新しい気づきと発見である。
- ⑧非日常の感動体験は忘れられない。大人も子どもも一緒にしょ！
 - ・非日常が成長を大きく促す。
- ⑨読書をしたら得した気持ちになる。大人も子どもも一緒にしょ！
 - ・インプットしないとアウトプットできない。
- ⑩新しく知った言葉は使いたくなる。大人も子どもも一緒にしょ！
 - ・言葉は実体験を求める。

菊地さんのお話の中で、特に心に残った言葉

- ・拍手溢れる教室を作りましょうよ。指が折れそうになるくらいの拍手が溢れるクラスを。
- ・自信と安心。目の前の先生がそうだから、子どもはそうなるんですよ。
- ・温かな距離感を大切に。近すぎてはだめというけれど、遠かったら伝わりませんよ。
- ・どこの学校も、子どもが「よろこんで登校 満足して下校」を目ざさなきゃいけません。
- ・大人は価値ある言葉を子どもに植林しましょう。得た言葉によって子どもは心を成長させるのですから。
- ・子どもはほめられるために学校に来ているんです。実際はそうはいかないことも多いけれど。
- ・子どもをほめるには観察力がないとほめられませんよ。

表情、仕草、振る舞い、つぶやき、そして、ほんの小さな前進…